

令和8年3月

伊那市議会定例会 議員提出議案書

令和8年3月16日

令和8年3月伊那市議会定例会 議員提出議案 目次

議員提出議案第1号 高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしない
ことを求める意見書の提出について……………4

議員提出議案第2号 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わ
ないことを求める意見書の提出について……………6

議員提出議案第1号

高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしない
ことを求める意見書の提出について

地方自治法第99条の規定により、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣及び関係機関に対し、高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書を、別紙のとおり提出する。

令和8年3月16日提出

伊那市議会議員 小林 眞由美

〃 高橋 姿

〃 池上 謙

〃 伊藤 のり子

〃 湯澤 武

〃 二瓶 裕史

〃 柳川 広美

(提案理由)

口頭にて説明

高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める
意見書

医療機関等での患者の自己負担が上限額を超えた際に、その超過分を支給する高額療養費制度は、患者の負担を軽減し、国民に必要な医療を保障するセーフティネットとしての役割を果たしています。

高額療養費制度はがん患者をはじめ、重篤な疾患の患者にとってまさに命綱であり、自己負担上限額の引き上げは、受診抑制や、治療継続の断念につながりかねません。

今、日本は物価上昇に賃金が追いつかず家計が厳しい状況にあります。その上重篤な疾患の患者には就労制限を余儀なくされている方も多く、高額な治療費の支払いにより困難な生活を強いられています。以上のことから、下記の事項を要請します。

記

- 1 高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げを行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和8年3月16日

伊 那 市 議 会

議員提出議案第2号

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行
わないことを求める意見書の提出について

地方自治法第99条の規定により、衆議院議長、参議院議長、内閣総
理大臣、財務大臣、厚生労働大臣及び関係機関に対し、消炎鎮痛剤や抗ア
レルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書を、別紙の
とおり提出する。

令和8年3月16日提出

伊那市議会議員 小林 眞由美

〃 高橋 姿

〃 池上 謙

〃 伊藤 のり子

〃 湯澤 武

〃 二瓶 裕史

〃 柳川 広美

(提案理由)

口頭にて説明

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書

政府は昨年12月の社会保障審議会医療保険部会に、1割から3割の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の25%）」として追加負担を求めるO T C類似薬77成分1100品目の医薬品を示しました。

対象となる薬剤は、痛み止めや花粉症治療薬、皮膚疾患の保湿剤など、日常的に幅広い疾患で使われている薬です。これらの薬は「特別料金」を含めると実質的な自己負担が大幅に増加します。

政府は、「（受診せず）市販薬を利用している患者との公平性」を理由にあげていますが、受診が必要な患者に追加料金のペナルティーを科す道理はありません。むしろ、症状を抱えながら医療機関に受診できない国民の受療権を確保すべきです。また、「現役世代の保険料負担軽減」を打ち出していますが、一人あたりの「軽減額」はわずかであり、一方で花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患に苦しむ患者など、すべての世代が負担増となります。

このような薬の「追加負担導入」は、患者の受療権や健康権の侵害につながり受診控えや受診遅れなど、いのちに直結する問題です。

以上のことから、下記の事項を要請します。

記

- 1 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和8年3月16日

伊 那 市 議 会